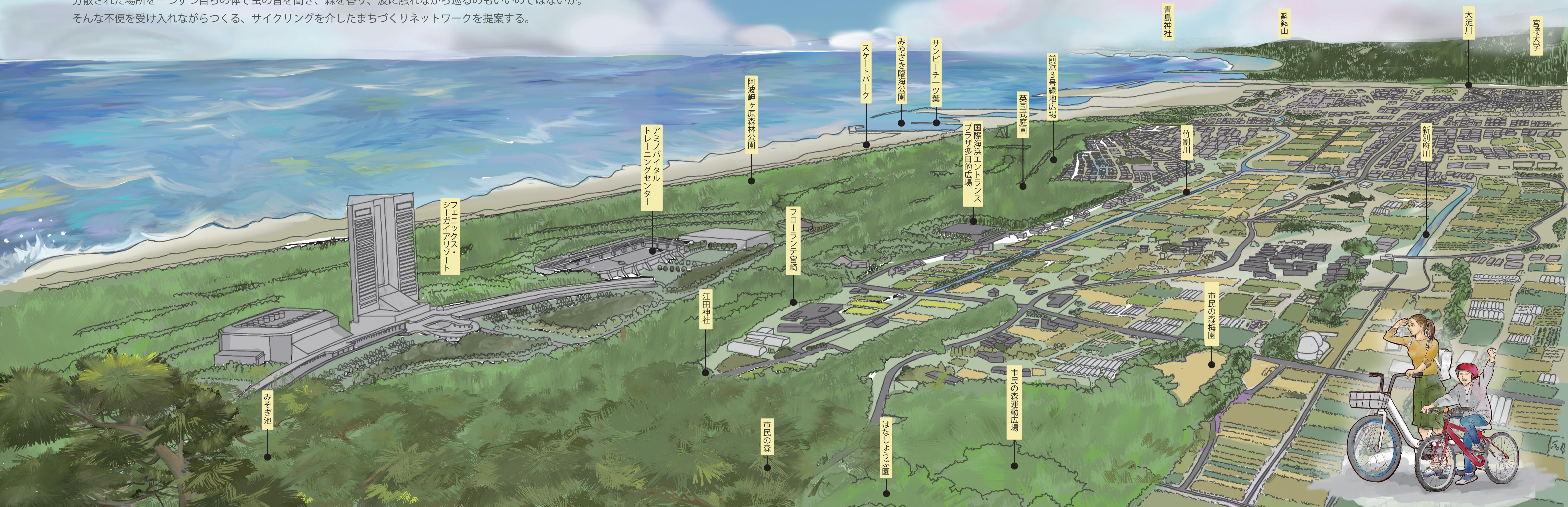


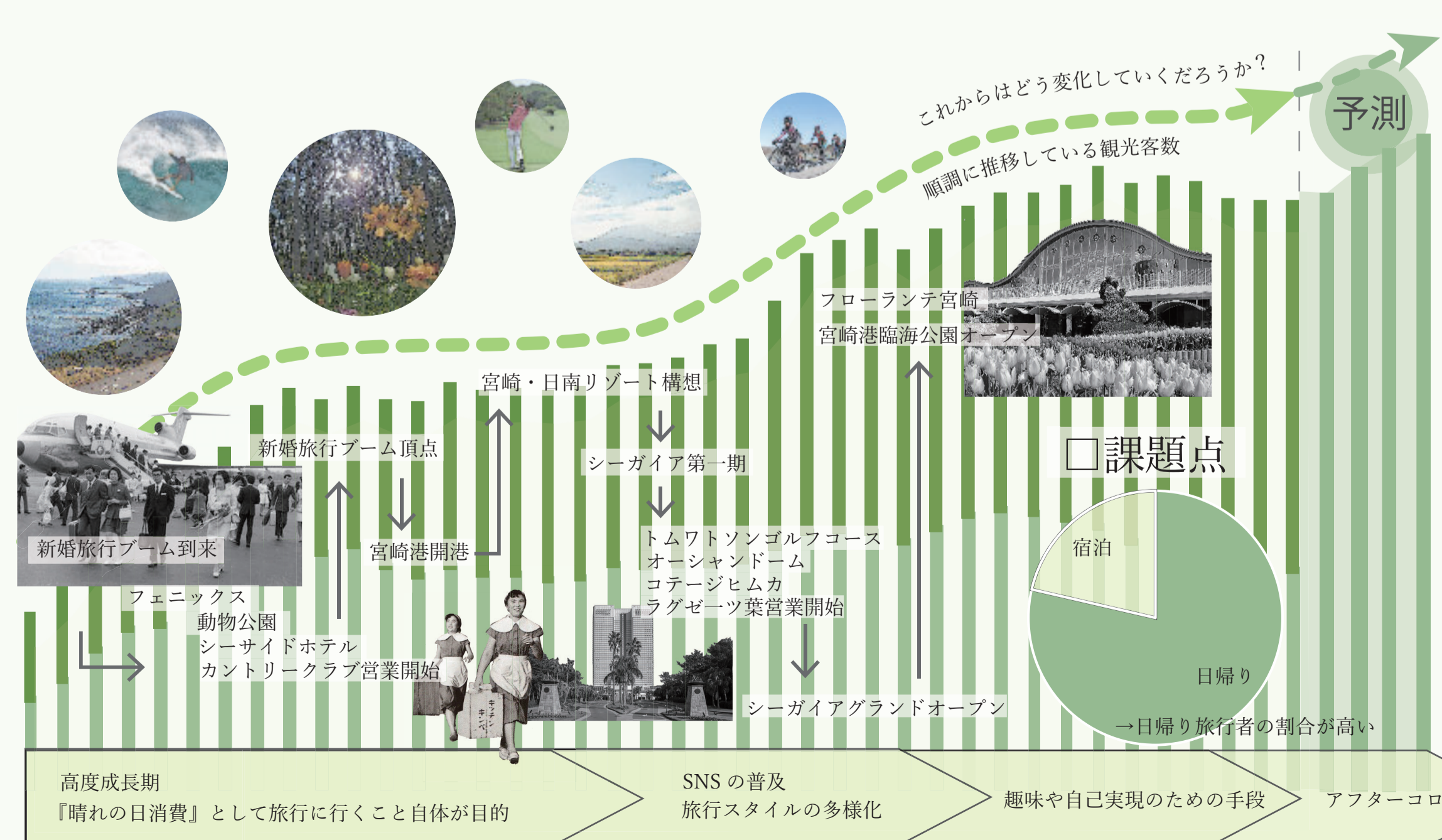
# Re:cycling

## サイクリングを用いたまちづくりネットワーク再生

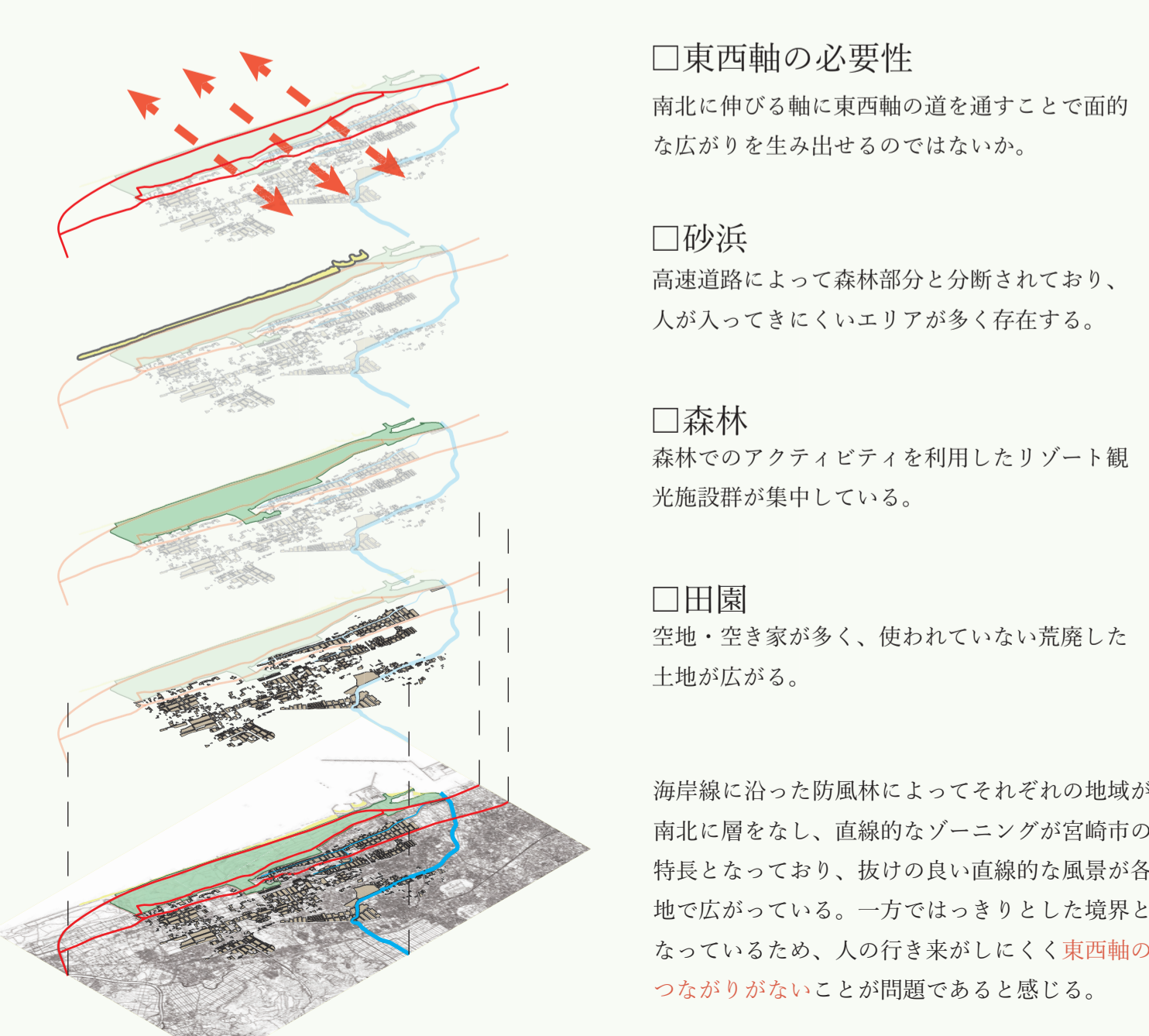
あらゆる機能が集約され、効率的に、機能化された街で人々は何を感じるのか。時には天候に左右されながら、分散された場所を一つずつ自らの体で虫の音を聞き、森を香り、波に触れながら巡るのもいいのではないか。そんな不便を受け入れながらつくる、サイクリングを介したまちづくりネットワークを提案する。



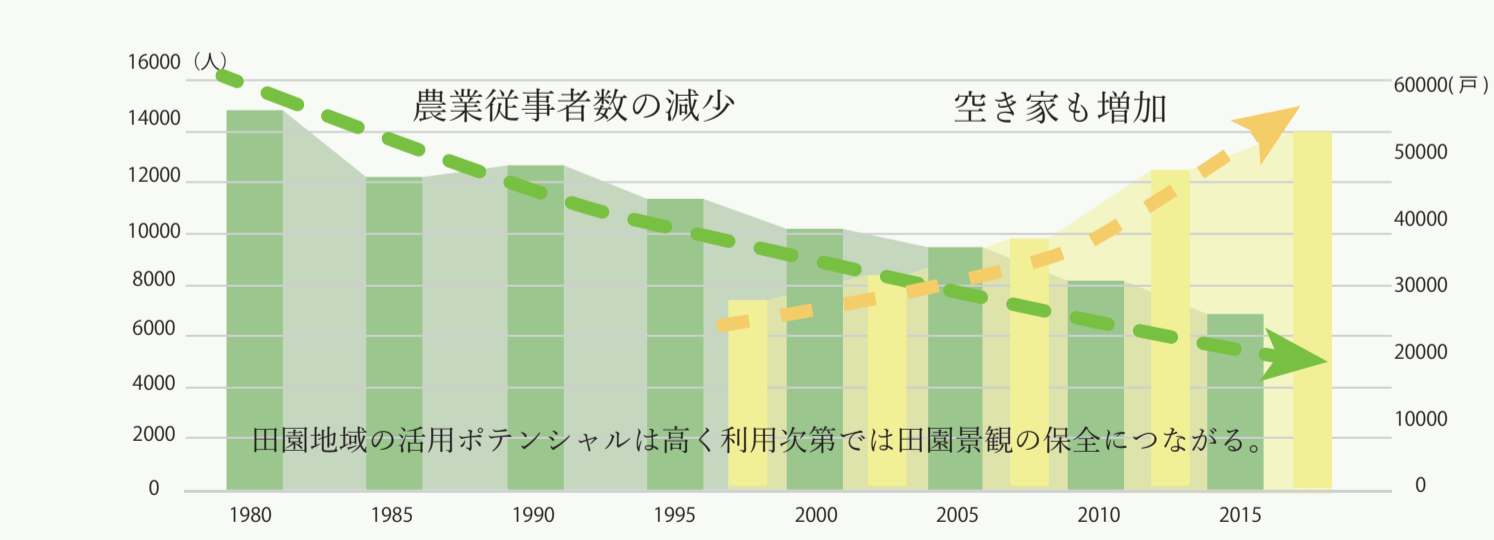
### 01. 背景：豊かな自然の中でのアクティビティーが魅力の宮崎



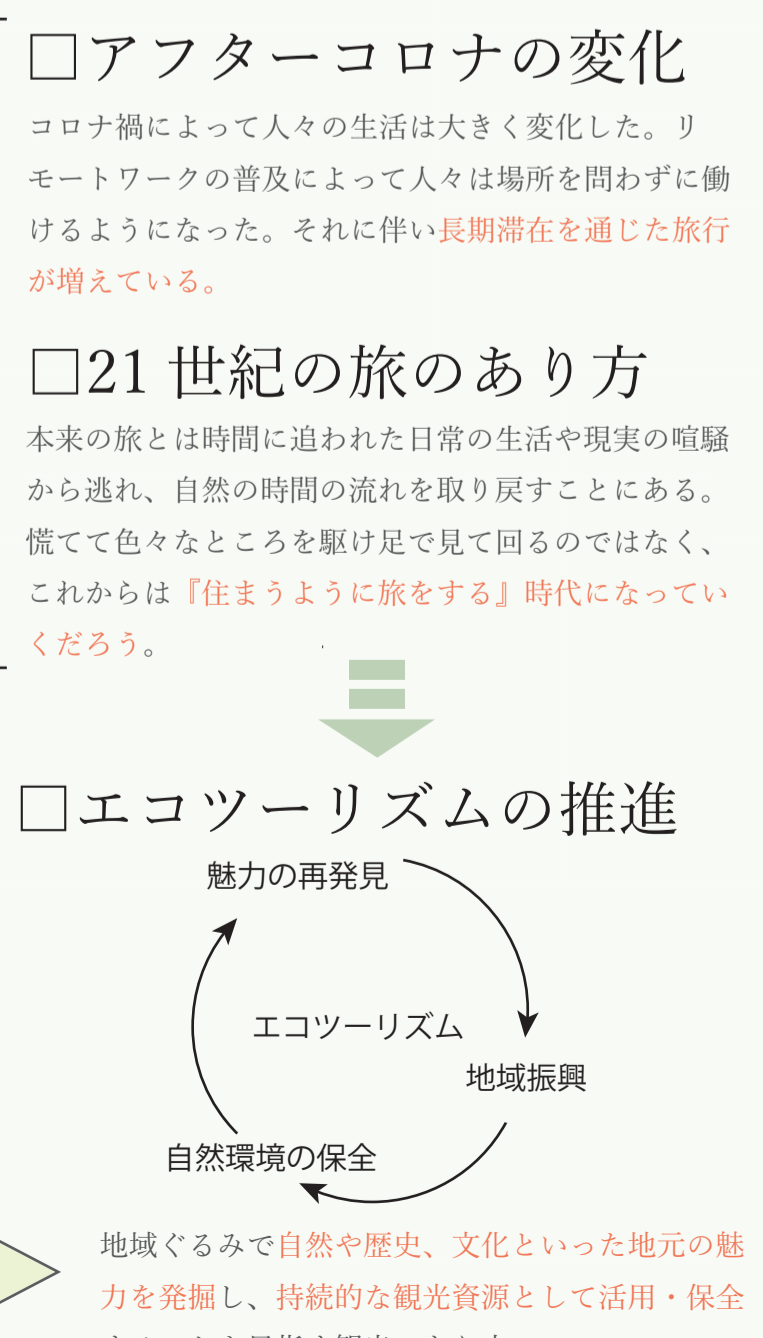
### 02. 分析1：海岸線に沿った直線的なゾーニング

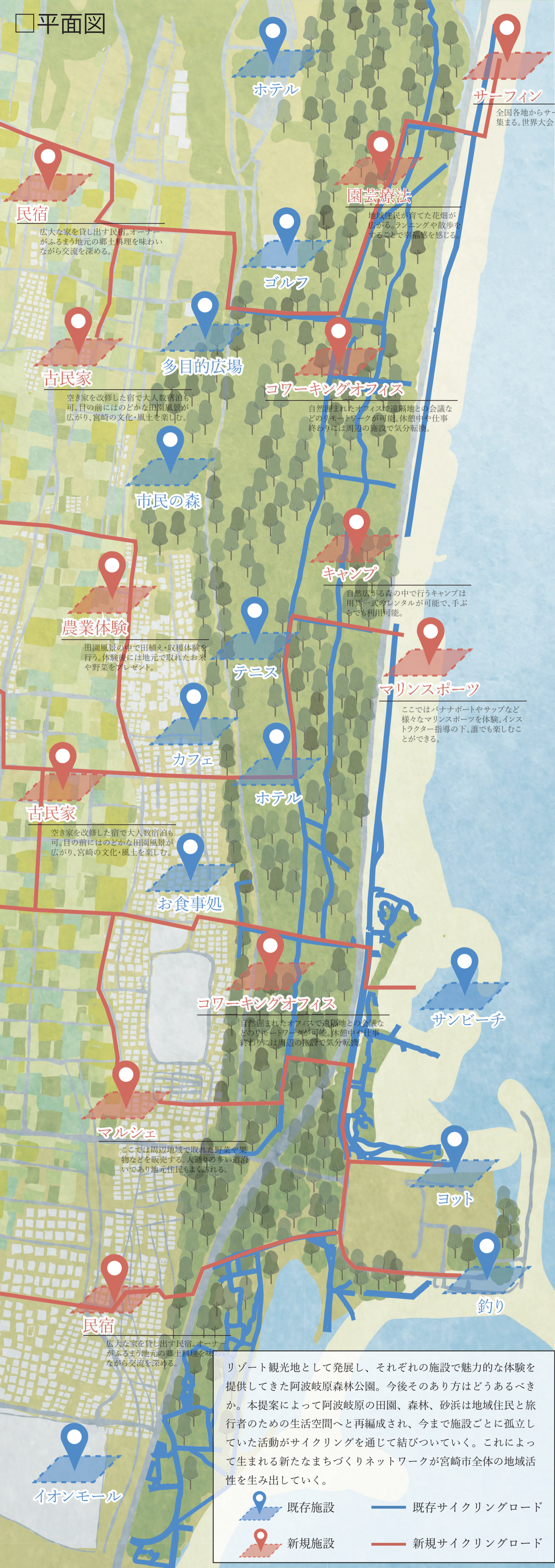


### 03. 分析2：田園地域の衰退による分断の助長



### 04. 計画：『住まうように旅をする』ために



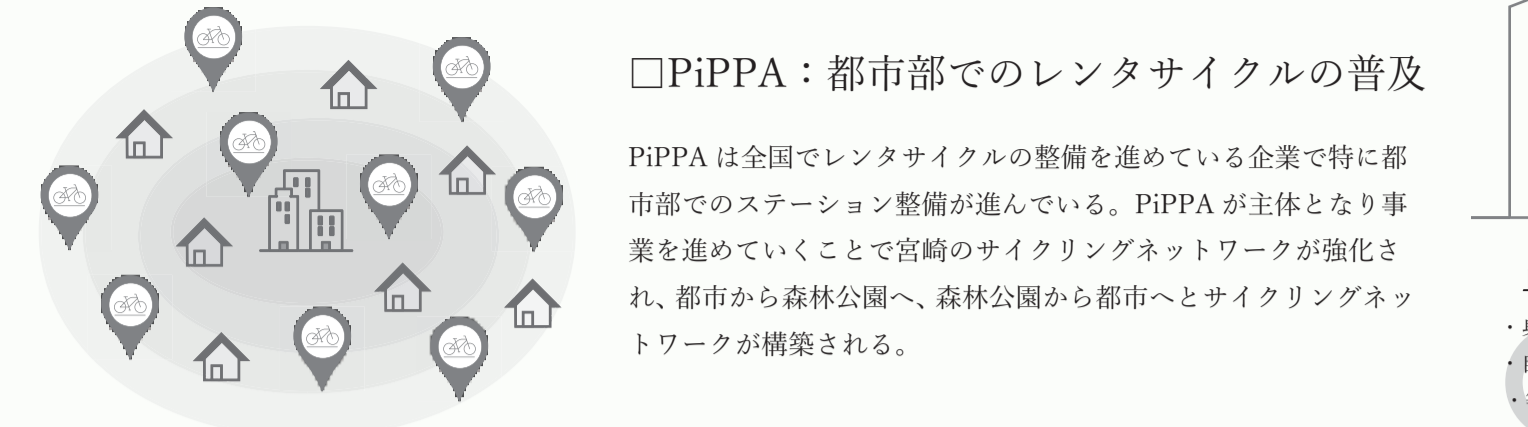


リゾート観光地として発展し、それぞれの施設で魅力的な体験を提供してきた阿波岐原森林公園。今後そのあり方はどうあるべきか。本提案によって阿波岐原の田園、森林、砂浜は地域住民と旅行者のための生活空間へと再編成され、今まで施設ごとに孤立していた活動がサイクリングを通じて結びついていく。これによって生まれる新たなまちづくりネットワークが宮崎市全体の地域活性を生み出していく。

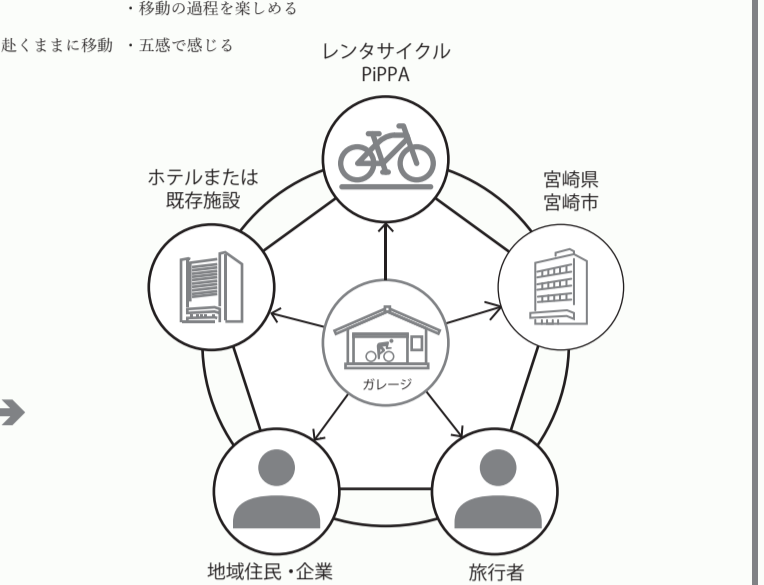
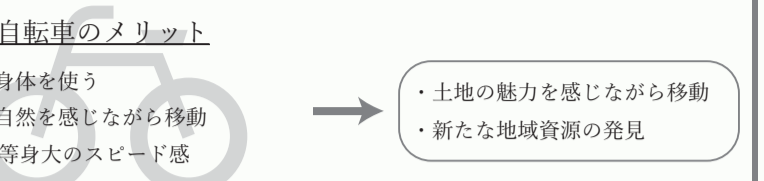
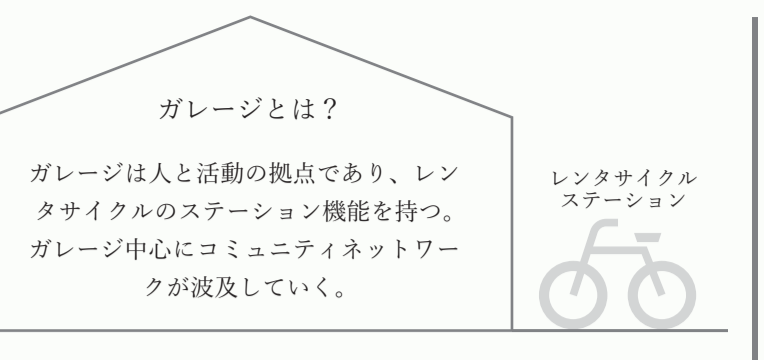
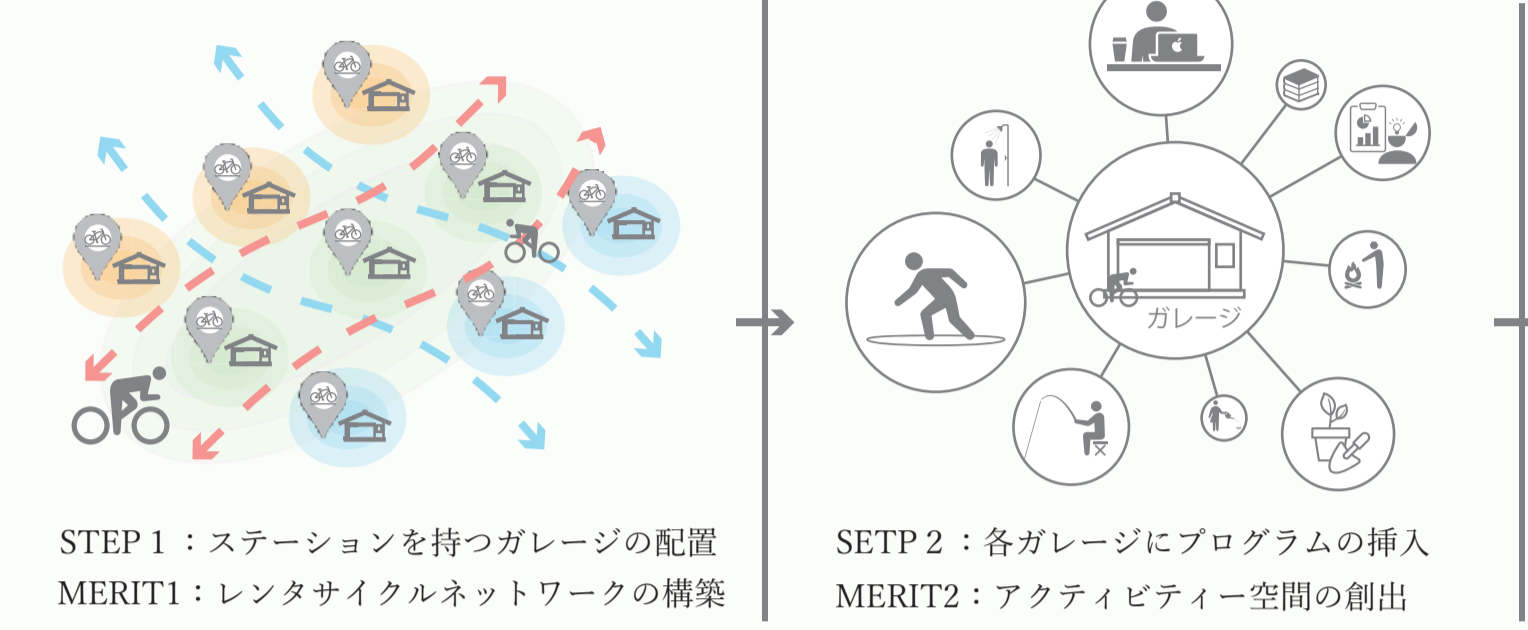
● 既存施設 ● 既存サイクリングロード  
● 新規施設 ● 新規サイクリングロード

## 05. 提案：東西軸サイクリングネットワークの構築

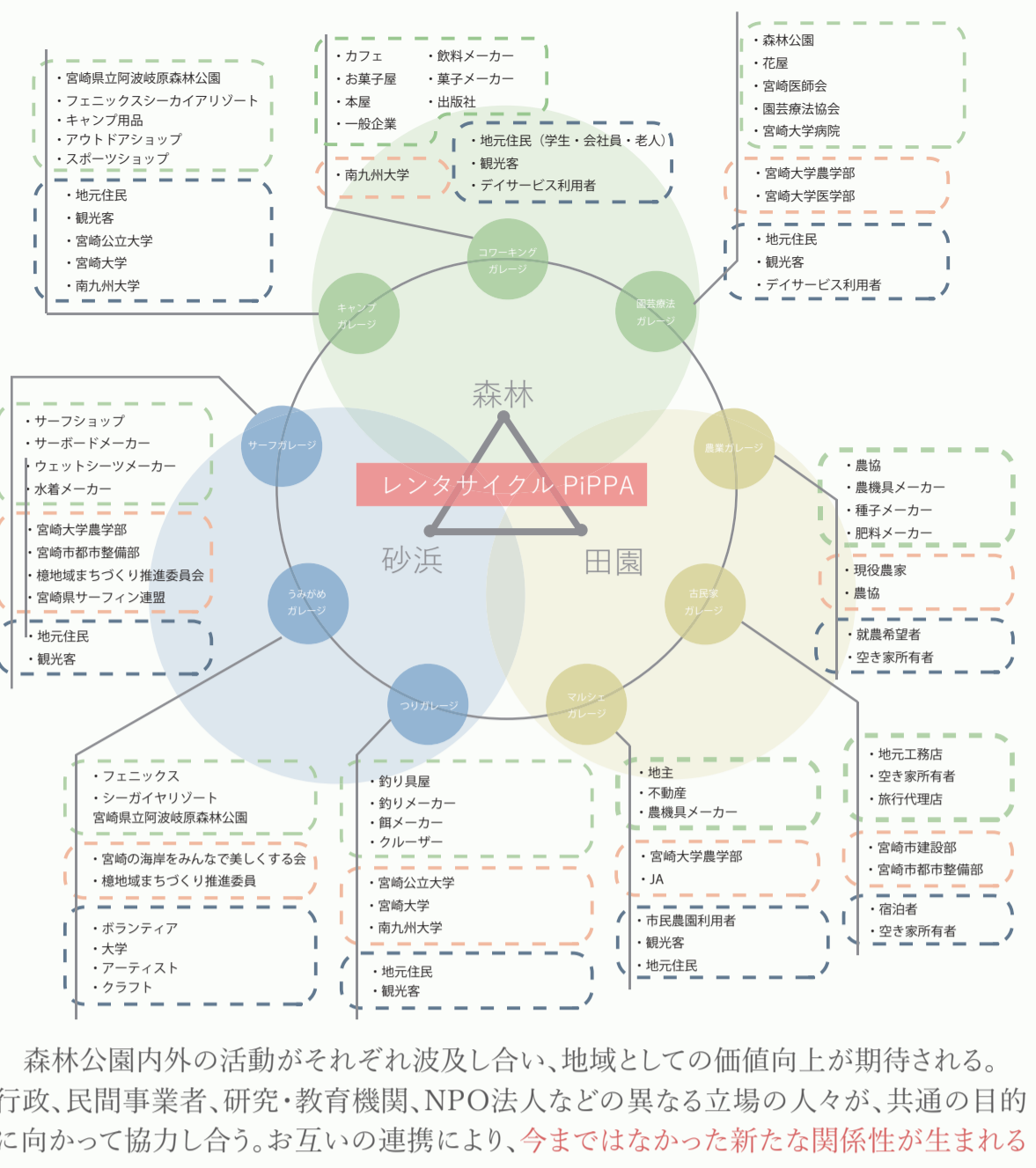
□運営主体：レンタサイクル企業 PiPPA(ピッパ)



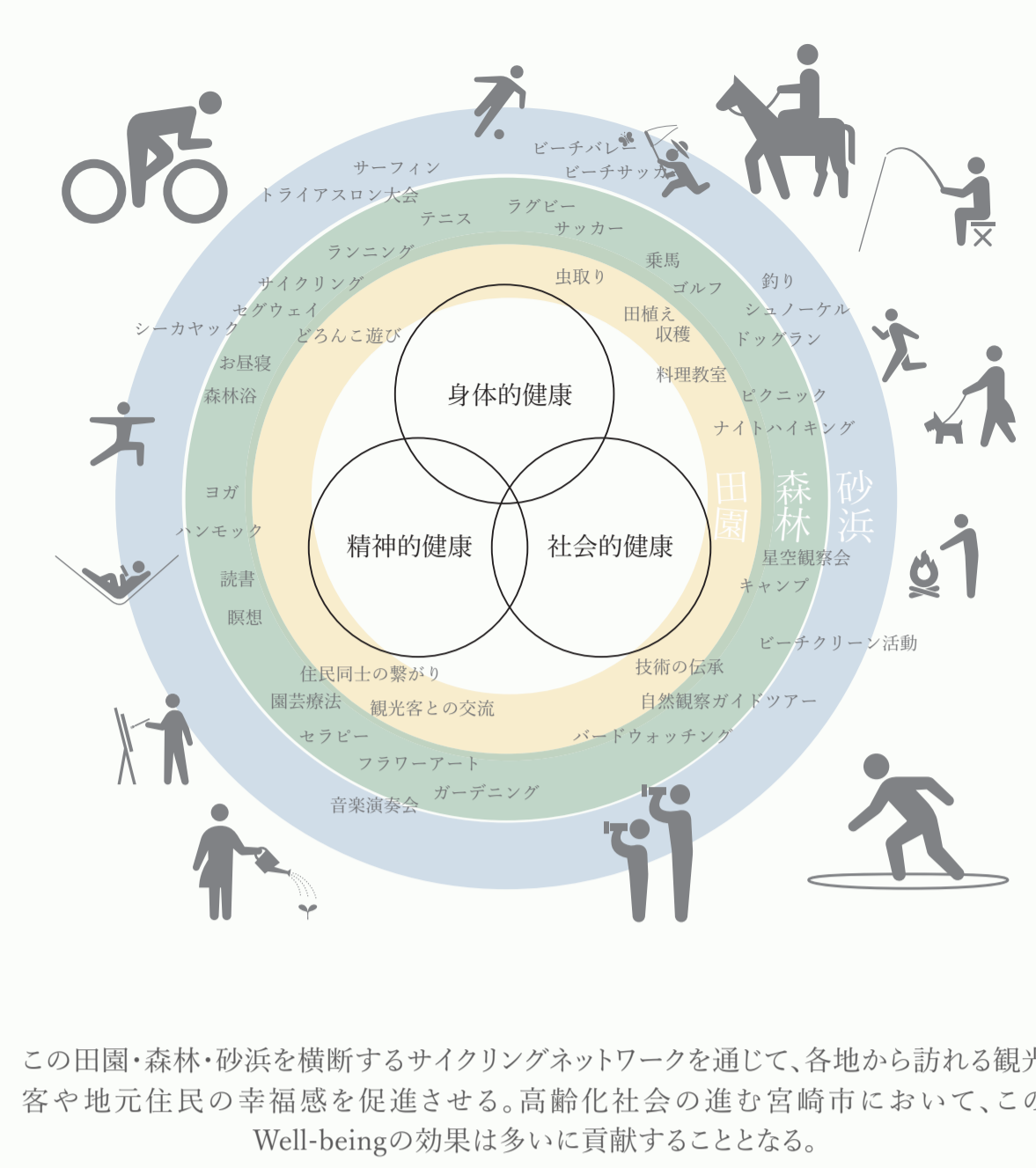
□PiPPAによる運営手法とメリット



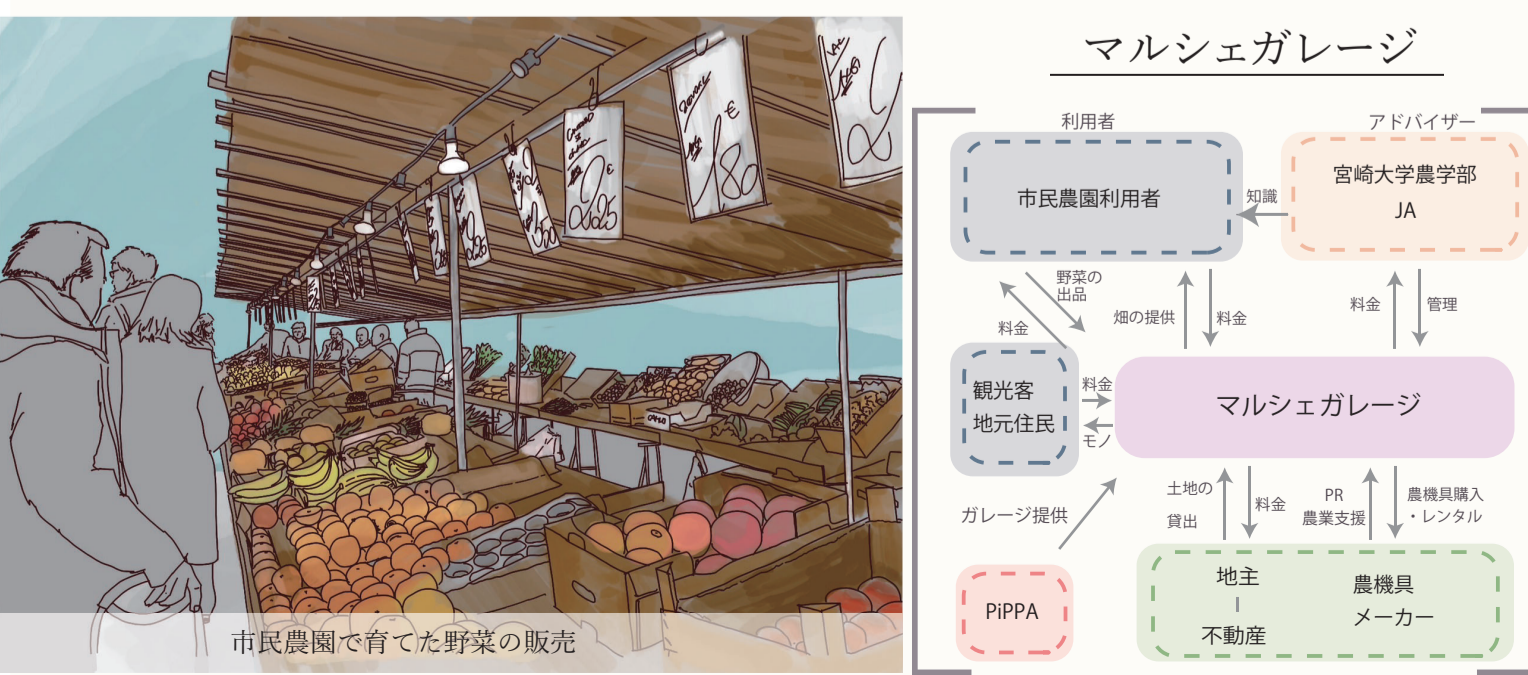
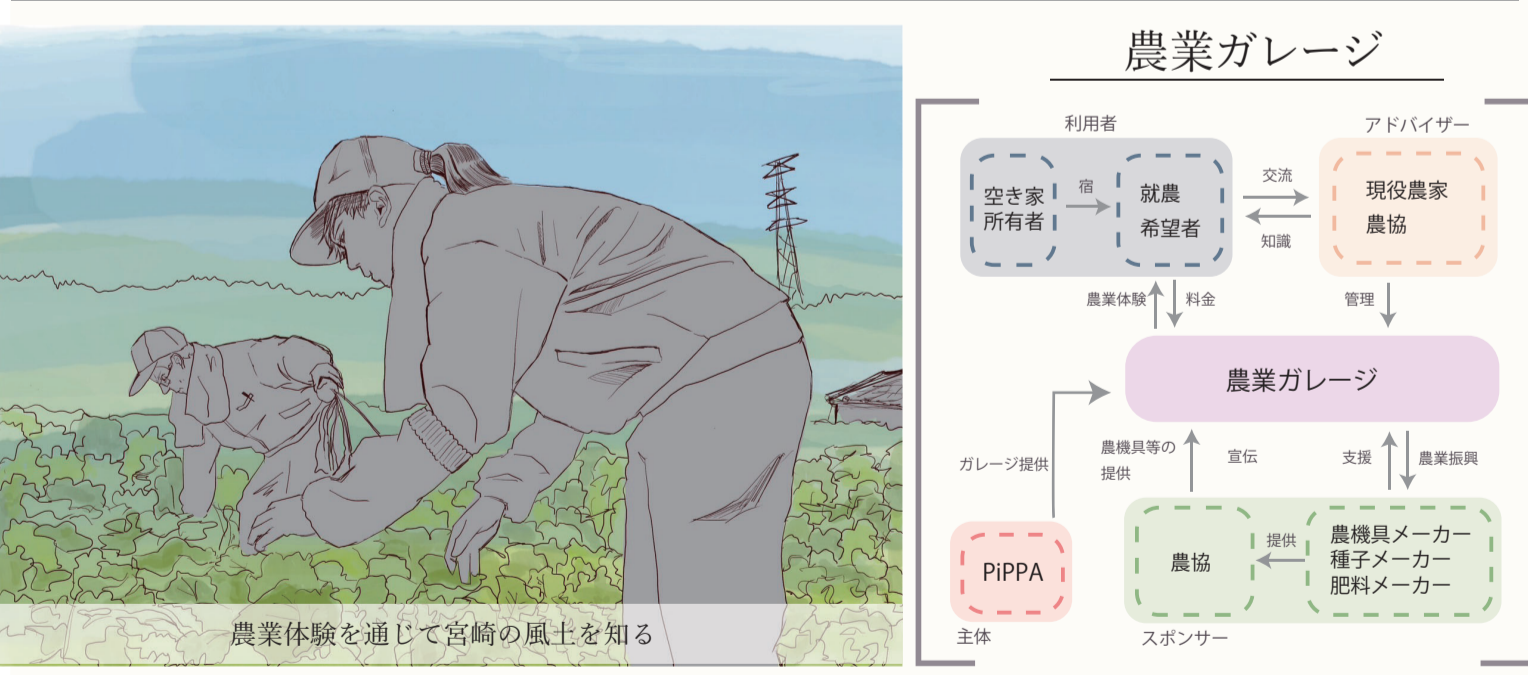
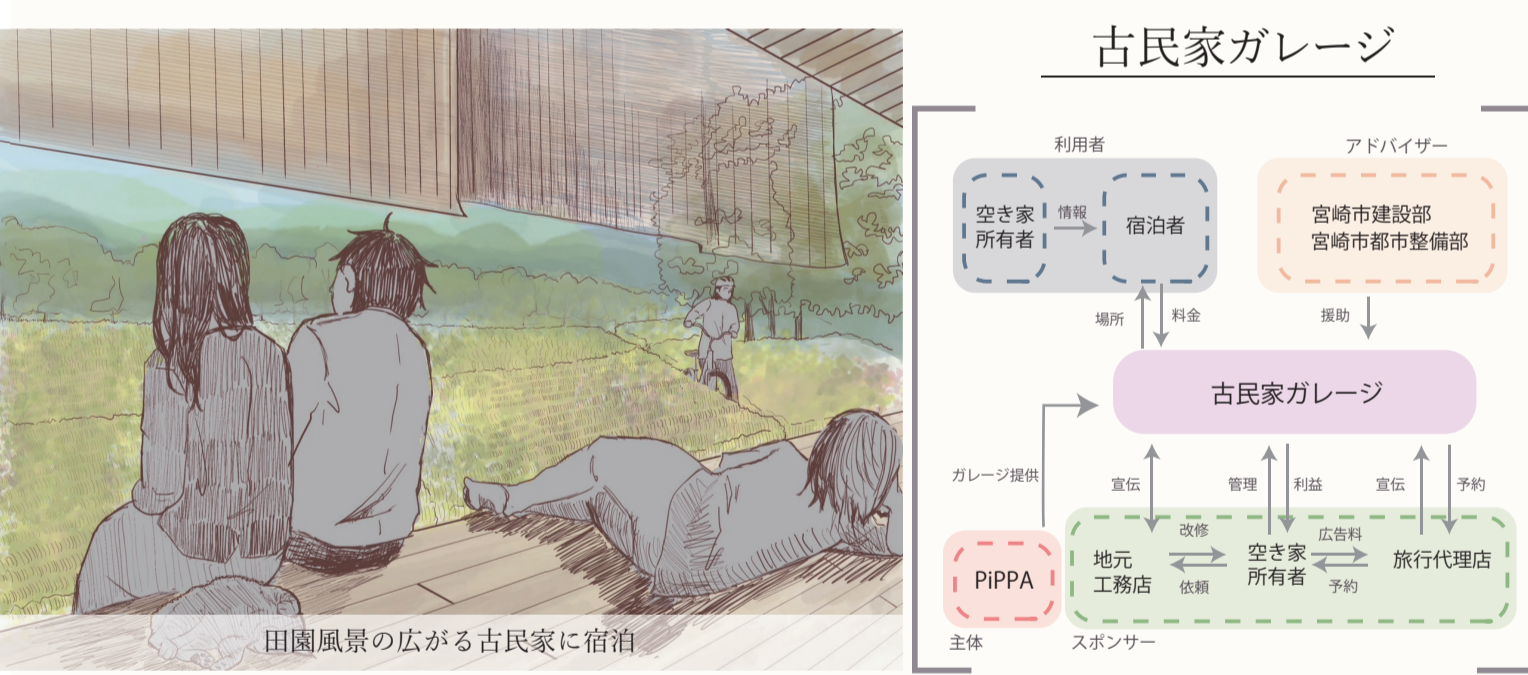
## 06. ステイクホルダー



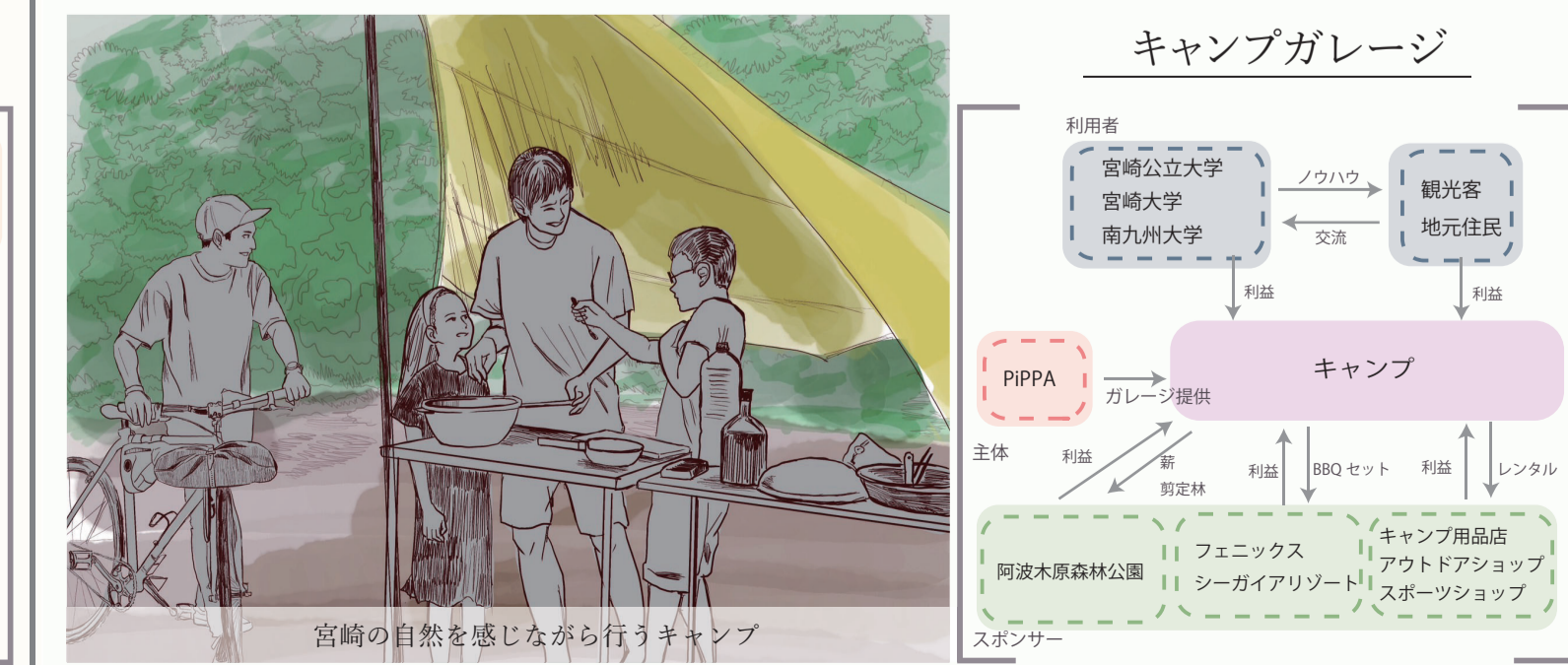
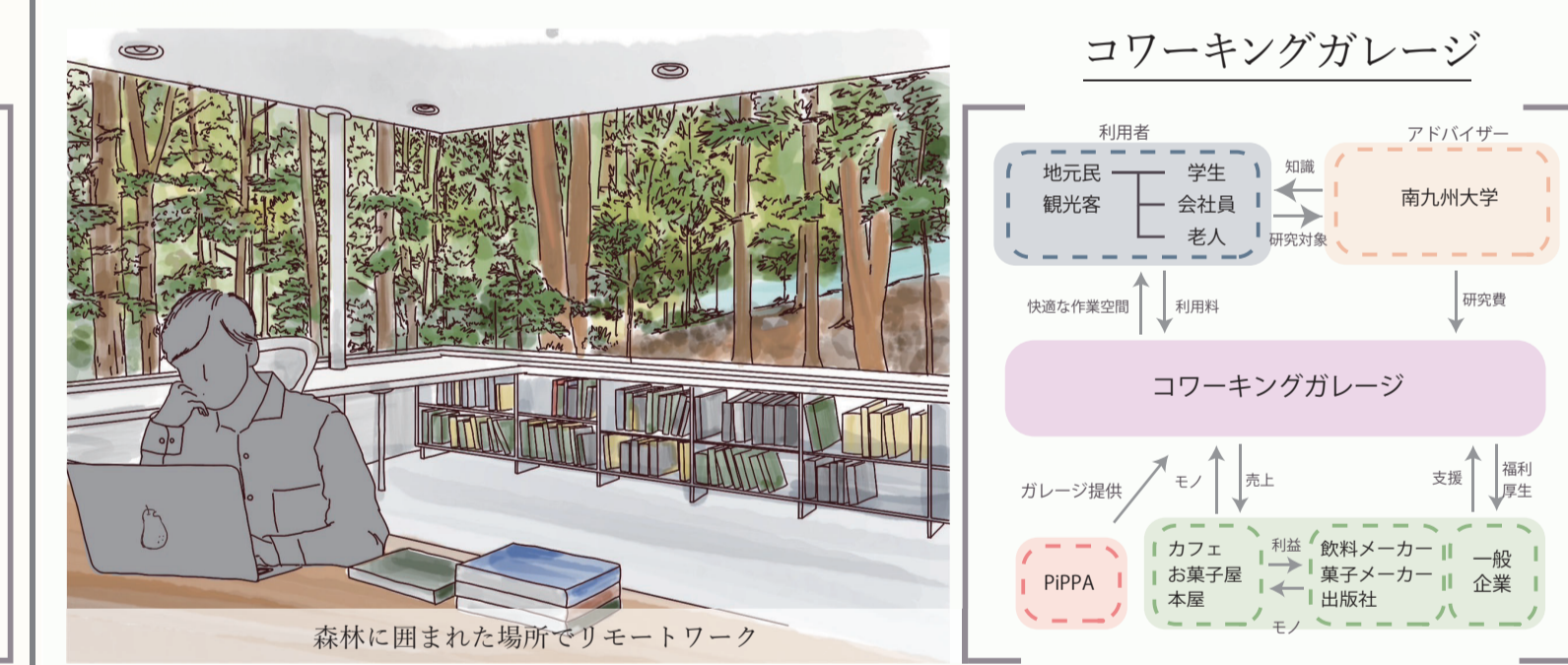
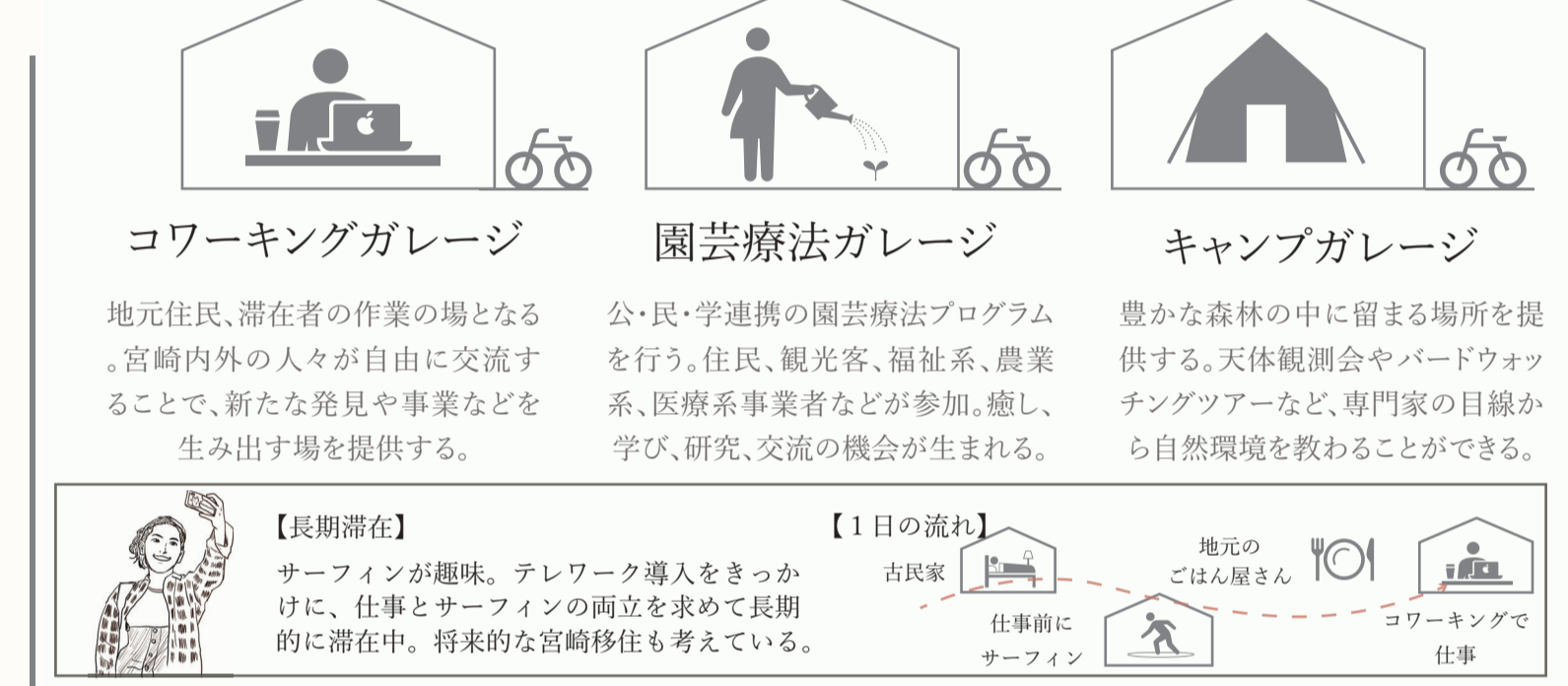
## 07. 達成される Well-being



## □“滞在する” 田園



## □“作業する” 森林



## □“趣味を行う” 砂浜

